

## 目黒西中学校 校章図案の説明

作品 No.	図案の説明
1	八中の白鷺と十一中の月桂樹を組み合わせた。両校を結ぶという意味でリボンを描いた。
2	統合ということがしっくりくるようにするため、八中の白鷺と十一中の月桂樹を組み合わせた。また、白鷺を向かい合わせ、2羽の頭で目黒区と緑が丘のMという形になるようにした。色はそれぞれのスクールカラーにした。
3	八中の白鷺と十一中の月桂樹を組み合わせた。
4	十一中の月桂樹を羽に見立て、八中の白鷺を作った。西中のため、白鷺の向きを左にした。
5	八中の白鷺、十一中の月桂樹、目黒の桜、両校のスクールカラーを組み合わせた。白鷺の口をペンに、尾をW、頭の一部をMにした。
6	新校の校名が目黒西なので、「西」を入れた。
7	西の文字を囲うように、八中の白鷺と十一中の月桂樹を描いて両校の学校をイメージできるようにした。「西」を強調し、八中・十一中だけのイメージにならないようにした。
8	八と十一をデザインに落とし込んだ。また、月桂樹の葉や鷺草、白鷺などの要素を使い、生徒を守るという意味で盾の形にした。
9	アンケートで丸のデザインが良いという意見や、白鷺と月桂樹を合わせたいという意見があったため、デザインに取り入れた。白鷺の頭に載っている王冠には、目黒のMが隠れていて、白鷺の足にはW(西)が隠れている。また、目黒区の他の区立中学校の校章には、中が入っているため、白鷺の上に掲げた。
10	西という字を形にして、十一中の月桂冠を入れ、葉の数は8枚と11枚にした。中央には八中の文字を入れて、十一と中という字を合体した。
11	区の花はハギの花なので、周りの花をハギの花にした。また、W(西)と、M(目黒)を取り入れたデザインにした。外側の葉の枚数は、11枚(十一中)、内側は8枚(八中)。
12	八中の白鷺と十一中の月桂樹を組み合わせた。W(西)と目黒を入れることで、目黒南中としっかり判別できるようにした。栄光のシンボルである月桂樹も8+11=19個書き、この学校全体で協力したり助けたり助けられたりする一体感をイメージした。白鷺の足も中(中学校)にして、中学校であることを強調している。
13	八中の白鷺と十一中の月桂樹を組み合わせた。
14	八中の白鷺と十一中の月桂樹を1つずつ描いた。西中の文字の色はスクールカラーにする。
15	八中の校章の由来である白鷺を描き、その周りに月桂樹を書くことでバランスをとった。また、中央に中を書くことで中学校らしい校章にした。
16	八中の白鷺と十一中の月桂樹を組み合わせた。目黒西にちなんで、白鷺は西の方を向いている。両校のスクールカラーを組み合わせたリボンを下に描いた。
17	十一中の月桂樹とW(西)とM(目黒)を描いた。色は両校のスクールカラーである赤や緑、また八中の校章で現在使われている金を入れた。八中と十一中の特徴を残したデザインにした。
18	西は手を組んだ形をしていて、両校のスクールカラーを使った。また、「西」と「中」を一体化することで統合を表し、鷺の頭の冠は、W(西)や月桂樹の勝利と栄光の冠となっている。
19	八中と十一中が組み合わさって西中になることを意識し、両校既存の校章の要素を取り入れた。八中の白鷺と十一中の月桂樹、11を組み合わせた。飛んでいる鳥は未来へはばたくという意味もあり、11が滑走路にも見えるのでこのデザインにした。
20	両校のスクールカラーの線を入れ、両校の校章の一部を入れることで、八中と十一中だったことを伝える。
21	八中にゆかりのある白鷺の羽と、十一中の月桂樹の葉をイメージして描いた。西という文字は、八と11を組み合わせて描いた。
22	十一中の月桂樹と八中の白鷺の羽をモチーフとし、中央に西という字を描いた。西は、太陽が沈むという意味があるので、背景に太陽を描いた。
23	西には太陽が沈むという意味があるので、太陽を描いた。太陽を表した三角は8個(八中)で、月桂樹の葉は11個(十一中)という意味で描いた。リボンは結ぶという意味があるので描いた。
24	八中の白鷺と十一中の月桂樹の葉を使って統合を表し、目黒のMも使った。白鷺の翼の模様が違うのは、八中と十一中が合わさってできているという統合のシンボルとして描き分けた。翼の色を両校のスクールカラーにして、さらに統合を表している。
25	鷺草の伝説の白鷺が羽を広げた形の首のようなところをW(西)に、足のようなところをM(目黒)に見えるようにした。
26	両校の良いところを描こうと思い、月桂樹と白鷺を入れた。そして、木は茶色にしてリアルにした。西中と鳥を金色で塗った理由は、八中の校章に金色があったから。
27	八中と十一中で偏りがでないように、同じくらいの要素を取り入れ、統合を意味するようにした。一目で八中と十一中が統合して西中が生まれたのだと分かるデザインにした。
28	月桂樹で八と11を作り、白鷺の羽で西の文字が飛んでいるようにした。

作品 No.	図案の説明
29	月桂樹に囲まれた白鷺ということで、羽ばたく白鷺と月桂樹を描いた。
30	十一中のイメージでもある月桂樹の月桂冠を入れた。また、西という字の中にある八と11を目立たせるように工夫し、新しく生まれ変わるという意味で羽を描いた。
31	八中の鷺草と十一中の月桂樹を組み合わせて、全て校章を変えてしまうのではなく、新しく生まれ変わるという意味で、M(目黒)と合わせてこのデザインにした。
32	ゼラニウム(六角形の中の花)には、真の友情という花言葉がある。みんなが信頼し合い、裏切らない学校になってほしいため取り入れた。八中と十一中の要素も入れたかったため、月桂樹の葉と白鷺の羽を取り入れた。六角形は縁起の良い形だから六角形にした。六角形の色は西中のスクールカラーにする。
33	八中の白鷺の羽と、十一中の月桂樹を組み合わせた。M(目黒)とW(西)を合わせて、永遠(∞)のマークにした(西中の楽しさや幸せなどが永遠に続くように)。縁起の良い、亀の甲羅を表す六角形を取り入れ、縁起の良い赤色にした。
34	八中の鷺草と十一中の月桂樹をかたどって作った。
35	八中の白鷺の羽、十一中の月桂樹をデザインに入れた。2つの学校が支え合っていくという意味で、月桂樹で周りを囲んだ。
36	八中の白鷺と十一中の月桂樹をデザインに入れた。月桂樹には、栄光、勝利などの花言葉があり、それが途絶えないように、十一中のデザインとは少し変えてリング状にした。白鷺は、広く羽ばたけるようにという意味を込めて、縁起が良い右向きにした。
37	円の周りは、左が白鷺の羽、右は月桂樹の葉にした。ヒモは、八中・十一中の絆をイメージした。「西」はスクールカラーにする。
38	八中の白鷺伝説を残すために白鷺と、十一中の象徴である月桂樹を描いた。色はスクールカラーにしてほしい。
39	八中の白鷺と十一中近くの自然を合わせた感じにした。
40	十一中の校章で使われていた月桂樹を描いた。M(目黒)を描き、西の漢字を工夫しながら、両校のスクールカラーを使ってデザインした。
41	W(西)と八中の白鷺と十一中の月桂樹を入れた。
42	校名にちなんで、白鷺が西を向いているようにした。また十一中のトレードマークである月桂樹を周りに描いた。
43	白鷺と月桂樹を入れた方が良いという意見があったので、組み合わせてみた。また、西中になるので西を入れた。
44	十一中の人八中に来るので、十一中の校章の中に八中の校章を描いて西を描いた。
45	八中の校章に使われていた白鷺とW(西)を合体させて、より意味の深いWにした。また、十一中の校章で使われていた月桂樹の葉の数を、左が11枚、右が8枚で、十一中と八中とすることを表している。そして、リボンが2つの中学校を結んでいることを表している。また、西は夕方、太陽が沈んでゆく方向であることから、太陽をデザインに入れた。太陽のように、一人一人が輝ける、発展、成長ができる学校にするという目標を込めた。
46	デザインにある八重桜は、豊かな教養という意味が込められており、上におくことで、それを重視するということを表した。また、月桂樹が白鷺を囲むようにすることで、戦争を生き抜いた白鷺が平和と栄光を手にする様子を表している。
47	十一中の月桂樹が、八中の白鷺を囲むことで、戦いから逃れることのできた白鷺が栄光を得て、幸せに暮らす様子を表している。また、生徒が前を向けるようにするため、白鷺が前を向いて飛んでいるように描いた。
48	十一中の月桂樹をモチーフにした。また、西の字を中央に配置し、際立たせた。
49	八中の白鷺と十一中の月桂樹が重なり、結ばれることで意気投合してほしいという意味を込めた。
50	八中の白鷺と十一中の月桂樹が重なり、結ばれることで意気投合してほしいという意味を込めた。また、打ち勝つ力があると言われ、縁起がいい菱形にした。
51	八中の白鷺と十一中の月桂樹が重なり、意気投合してほしいという意味を込めた。また、自分の力で身を守れるようにしてほしいため、身を守る盾を描いた。
52	2つの中学校が1つになるので、両校を代表する白鷺と月桂樹を組み合わせた校章にした。
53	八中の白鷺と十一中の月桂樹を取り入れ、西の中に中という字を描いた。
54	M(目黒)を使った。また、月桂樹は花言葉で栄光、勝利、栄誉という意味があるので使った。
55	月桂樹の花言葉は勝利、栄光なので、月桂冠として使った。月桂冠の赤色は八中を、緑色は十一中を表している。中央に西中と描くことで、両校が1つになることを表現している。
56	西中とM(目黒)を入れ、周りにさくらを描いて、目黒の学校っぽくした。
57	11と八を組み合わせて西にした。白鷺は西を向き、月桂樹の色は両校のスクールカラーにした。両校のスクールカラーで、八中と十一中が仲良くなることを祈った。

作品 No.	図案の説明
58	八中の白鷺、十一中の月桂樹を組み合わせた。また、西を英語でWESTにした。
59	両校の校章を混ぜたデザインにした。そして、月桂樹の下に葉を描き、自然あふれる学校を表現した。色は、両校のスクールカラーを取り入れた。
60	八中の白鷺と十一中の月桂樹を入れた。また、八と十一を組み合わせて西を描いた。
61	西という字を最大限に生かし、月桂樹の花言葉である栄光が、西中ができるお祝いにふさわしいと思ったため、取り入れた。
62	両校のスクールカラーを組み合わせ、校名である西中を入れた。
63	月桂樹と白鷺の翼で、八中と十一中を表している。
64	Mの端に8と11を描くことで、両校をイメージした。中央に西を描くことで、2つが合わさったことを表している。また、中央に鷺草を描き、飛び立つことを表している。
65	高貴な色の紫と、両校のスクールカラーを取り入れた。中心の赤の部分は、両校の生徒の関係が良く、西中を作っていけるように、人のマークと重ねた。緑の若葉は、新校舎ができるため、新しく芽生えた証を表している。八とMの字を入れ、Mの字は向かい合う1にした。丸をイメージし、白抜きでW(西)を入れ、笑いあふれる学校になれば良いという思いから大きくした。Wの先がとがっているのは、白鷺の羽や翼をイメージしている。
66	両校の良いところ、伝統が受け継がれてほしいという願いから、八中の鷺草、十一中の月桂樹をモチーフにした。白鷺が上に向かって飛んでいるのは、両校が生まれ変わり、より良くなる＝飛躍を表している。中(中学校)は月桂樹、学業を表すペン、白鷺のシルエットをイメージした。
67	新校へと変わっても、両校の良さ、伝統を守り、繋いでほしいので、八中の鷺草と、十一中の月桂樹をモチーフにした。また、白鷺が上へ向かって飛んでいるのは、西中の目指す学校像の1つである、未来を切り拓く力＝未来へ向かうという意味を込めている。中(中学校)は月桂樹、学業を表すペン、白鷺のシルエットをイメージした。
68	八中の白鷺と十一中の月桂樹をモチーフにした。
69	月桂樹と中(中学校)、W(西)を取ってこのデザインにした。
70	中央に西の漢字と白鷺。上に月桂樹を付けて、両校の統合を表している。
71	十一中の月桂樹を使った。M(目黒)、W(西)、中(中学校)を入れた。オレンジ色にしたのは、両校のスクールカラーの中間色のため。
72	校名であるWESTの頭文字を取った。八中の白鷺と十一中の月桂樹を入れ、学業はペンというイメージがあるので、ペンを中央に入れた。
73	八と十一と西を使った。八と十一は両校のスクールカラーにした。
74	白鷺と西の両方を使った。
75	八中の校章の周り、十一中の月桂樹をイメージして描いた。また、西中なので「西」を入れた。
76	八中の伝統である白鷺と、十一中の月桂樹を入れたデザインにした。
77	八中は白鷺のイメージで、十一中は月桂樹のイメージなので、月桂樹の中に白鷺を描いた。また、西中と分かるように、西を描いた。
78	西を表すために、方位記号とW(西)を組み合わせた。八中の白鷺と十一中の月桂樹や昔、目黒に多かった竹や目黒のさんま等を取り入れた。たくさん意味が詰まっていることから、希望が詰まっていることも現した。
79	八中と十一中が統合したことが分かるように、八中の鷺草と十一中の月桂樹を描いた。また、印象に残りやすいように、単純なデザインにした。
80	八中の白鷺と十一中の月桂樹を組み合わせた。
81	WとMで西のWESTと目黒のMを表現。月桂樹と白鷺の羽で、統合の意味を表し、盾にすることで、目黒区の中で今までにない学校という意味を込めた。また、赤いラインをつけることで、新校のエースという意味を込めた。
82	両校の校章から取って、白鷺と月桂樹を入れた。西中なので、白鷺を地図の西に向けた。
83	昔、目黒には竹林が多かったことや、目黒の目、サンマ、月桂樹といった目黒の要素を詰め込んだ。
84	目黒区は桜が有名で、春になると美しい桜の木々を表した。また、幸運が訪れる鳥と言われる、白鷺の羽を組み合わせたデザインにした。
85	八中の白鷺と十一中の月桂樹を入れ、八中と十一中の統合校であることを表現した。
86	十一中の要素である月桂樹や、八中の八から、8枚の花びらのある花にした。月桂樹で隠れる8つの花びらを持つ花という形にした。
87	八中の白鷺と十一中の月桂樹を組み合わせた。八中の白鷺だけ、十一中の月桂樹だけなど、偏ったデザインにならないようにした。

作品 No.	図案の説明
88	「西」の左右に白鷺の羽をつけ、八中らしさをイメージした。月桂樹の葉で十一中をイメージし、パッと見たときに一目で分かるデザインにした。
89	M(目黒)、W(西)、月桂樹の葉、中(中学校)、白鷺の羽を組み合わせた。
90	西中なので、西と中を重ねた。また、八中×十一中=八十八であり、昔から日本では八十八は、米寿など米と結び付けられているため、デザインに取り入れた。
91	M(目黒)とW(西)を組み合わせたデザインにした。シンプルなデザインにすることで、他の中学校の校章と統一することを意識した。また、鷺草の形をバラバラにすることで、生徒一人一人の個性を表現した。
92	両校の校章デザインを取り入れたかったため、鷺草と月桂樹を組み合わせて中心に西中と描いた。
93	両校の想いを消してほしくないということで、全部形を崩すのではなく、両校の校章を合わせた形にした。Mは逆にするとWになる。学業にも力を入れてほしいという思いから、Mの内側はペンの形にした。
94	W(西)と学業の象徴であるペンを描いた。
95	八中の白鷺と十一中の月桂樹を組み合わせたデザインにした。螺旋構造は、アンケート意見にもあった、新時代を切り拓くイメージを表現した。
96	八中の白鷺と十一中の月桂樹を引用した。白鷺は飛躍、ペンが学問。左の月桂樹は、耐えることのない友情(葉と葉がくっついている)、右の月桂樹は、自立の様を表した(だんだんと葉と葉が離れていっていることから)。また、M(目黒)や、八と十一を英語にしたときのイニシャルであるEを忍ばせた。
97	目黒のM、両校の名前を入れ、中央に西中と描いた。
98	八中の校歌・校章のモチーフである白鷺を対にし、両校が共に手を取り合う様子を表現した。2羽がそれぞれ羽を広げているようにも、1羽が大きく広げているようにも見るようにした。また、白鷺のクチバシが漢字の八、首が数字の11に見えるようにした。十一中の月桂樹の葉の線と曲線を取り入れた。
99	アンケート結果の白鷺のデザインを入れたい・丸い形のデザインが良い・両校の校章を合わせたデザインにしたいという意見を取り入れた。渡り鳥である白鷺は、次世代につなぐという意味で、勝利や栄光のシンボルである月桂樹を取り入れ、次世代に勝利や栄光あれという思いを込めた。
100	八中の白鷺と十一中の月桂樹を描いて、共に新校に向かって歩いていくという思いを込めた。
101	八中と十一中の要素を満遍なく使ったデザイン。十一中の月桂樹と、逆から見たときの目黒のM。八中の白鷺。数字の11
102	ピクトグラムでの経験を活かして、シンプルで分かりやすいデザインにした。
103	中央に目黒区の花である萩、両端に月桂樹を描いた。月桂樹の葉の数は、左側は3組、右側は8組にした(八中→8組、十一中→8+3=11組)
104	西の字に、八と十一が隠れていたのを色を変えた。目を黒くすることで、目黒と分かりやすくした。全体が白鷺に見えるように描いた。
105	中央に西を描き、その上にW(西)と栄誉の印である冠を描いたものをつけ、十一中の月桂樹を入れた。西の色は、四神の中で西に位置する白虎の色である白にした。
106	左側には鷺草、右側に月桂樹、そして中央にW(西)を入れることにより、どちらかの校章に偏ることなく、2つの中学校からできた学校ということを表した。
107	M(目黒)、W(西)、月桂樹は十一中を表し、白鷺は八中を表している。
108	両校のデザインを入れた校章にしたかったため、八中の鷺草、十一中の月桂樹と、西を合わせた校章にした。
109	M(目黒)、十一中の月桂樹を組み合わせた。また、八中の校章を単純化し、スクールカラーの赤色を使った。
110	M(目黒)とN(西)を入れ、桜と月桂樹を描いた。
111	桜の花びらの中に、中(中学校)を描いて、八中のスクールカラーの赤色にした。その下に、十一中の月桂樹を描き、上には八中の白鷺を描いた。
112	八中の鷺草と十一中の月桂樹を入れ、全体の形を円形にして、線対称なデザインにした。字体は隷書にしたが、西中の字の中に八と十一が隠れているため、少し太めに書いている。また、月桂樹は下の方の葉をだんだん大きくし、(先輩が)後輩を支えて学校を創っていくという意味を込めた。
113	八中の白鷺と十一中の月桂樹を組み合わせた。鷺の足をMの形にし、赤い羽根の部分には、11と八が隠れている。
114	八中のスクールカラーである赤色を桜と例え、十一中のスクールカラーである緑を葉に例えて考えた。目黒は桜がきれいに見える場所が多いと思ったため、桜を中心に描いた。
115	西の周りに十一中の月桂樹で囲み、西中になってもなくならないという意味を表した。
116	平和の象徴の月桂樹と、中(中学校)、W(西)を組み合わせた。

作品 No.	図案の説明
117	西中を少し違った字体で表し、周りを月桂樹で囲んだ8の字にして、十一中と八中を表現した。月桂樹を使うことで、十一中の特徴的なところを表し、西中の字をそれぞれ月桂樹で囲むことで、8に見えるため、両校を活かせると思ったから。
118	十一中の月桂樹と校名の西を組み合わせた。
119	十一中の月桂樹を使い、 $11+8=19$ 枚の葉を両方につけ、中央に西の字を入れた。
120	目黒西中の西を中心に置き、波と夜の星を配置した。
121	両校の校章を基に考えた。校名であるW(西)とM(目黒)を入れた。
122	目黒西中の西と、目黒のMを組み合わせた形で、すぐに目黒西中だと分かるデザインにした。文字の下には、学校の目の前にある桜並木の桜と、十一中の月桂樹の葉を残し、自然豊かな学校を表現した。
123	W(西)と、自然のものを取り入れるため月桂樹、そして中(中学校)を描いた。
124	新校のイメージや元の学校を示すべきと考えたため、M(目黒)とW(西)を組み合わせ、八中の白鷺と十一中の月桂樹を模したものを描いた。明るい学校になるように、中央は黄色を入れた。
125	西中の西の字を中心に書き、八中の白鷺と十一中の月桂樹を取り入れた。明るい未来への希望をもって、太陽を描いた。
126	両校の校章の一部の月桂樹と白鷺の羽を組み合わせた。また、西は太陽が沈む方角であることから、太陽をモチーフとし、W(西)を王冠のようにした。
127	W(西)を中央に描いた。
128	大きな王冠は、W(西)をかたどった。それにより、統合しても失うことのない輝きや、両校の良いところを引き継いでいってほしいという願いを込めた。周りの植物は小さなスズランの集まりであり、花言葉である純粋、純潔は目黒西中として新たなスタートを切ってほしいという願いを込めた。
129	中央のWはWESTから。十一中の月桂樹には、勝利、栄光といった意味があり、すてきだと思ったので取り入れた。八中の校章は白鷺伝説がもとになっていて、その翼から空へ羽ばたいていくように、向上心を抱き取り組むということを連想した。ペンが学問を表している。生徒たちには、向上心を持って、学校で様々なことを学び成長し、栄光を手で大空(社会)へ羽ばたいてほしいという意味を込めた。
130	両校の校章を合体させた。M(目黒)、白鷺、月桂樹が入っている。また、白鷺の中に11と八を入れた。
131	両校の校章を組み合わせた。
132	中央に大きく西中と描き、両サイドに白鷺をイメージして羽を描いた。羽の色は両校のスクールカラーの色にして、下に月桂樹を置いた。
133	西中の西の字には、八と十一、中の字が隠されている。平和の象徴である月桂樹の葉の数は8枚と11枚で、文字の色は、目黒区や東京都の紋章と同じ紫色にした。
134	左側には八中の白鷺(数字の8が隠れている)、右側には十一中の月桂樹(数字の11が隠れている)を描いた。左右の白鷺と月桂樹の末端を結び、2校が統合してできた学校であるという印象を強めた。中央は西と中を合体させた文字で、新校の校名を表している。この文字の形は、八中の鷺草をかたどったデザインとなっている。
135	八中の鷺草と十一中の鷺草を組み合わせたデザイン。西中の西の書体を変えた。
136	目黒のM、西の漢字の中に八、月桂樹の葉を11枚にした。
137	西という文字の中に、月桂樹の葉、白鷺、ラベンダーを詰めこんだデザインに仕上げた。統合する十一中の月桂樹、八中の白鷺、また新入生を歓迎するという思いを込め、花言葉が「あなたを待っています」であるラベンダーを使用した。
138	アンケートを参考にして月桂樹を入れ、その中に八中の校章を入れた。また、西中の文字を入れたことで、八中と十一中が統合したことが分かるようにした。
139	新たな西中の校章ということで、目黒区にないような新しいデザインにした。白鷺の羽を描いた。
140	東京都のシンボルであるソメイヨシノの桜をモチーフとし、八中の白鷺の羽をつけた。そして、十一中の月桂樹をつけて、両方の要素を活かしたものにした。中央には、W(西)を入れ、新校の味も出した。両校の学校の雰囲気を変えたりしないように、新しい校章は両校の学校を連想させるものにした。
141	中と西の字にギザギザを加えたのは、ギザギザを西の方向に描くことで、より西を強調させたいため。M(目黒)とW(西)を入れ、月桂樹の枠にした。
142	M(目黒)とW(西)を組み合わせた。そして、八中の白鷺と十一中の月桂樹を描くことで、白鷺の懸命さと月桂樹の平和の象徴が組み合わさって、平和に生きていて毎日を一生懸命に生きるという意味を込めた。
143	周りの葉はオリーブの葉で平和を、黄色のペンは学業を表し、学業を平和に使ってほしいという意味を込めた。
144	八中の白鷺と十一中の月桂樹、そして中央に校名である目黒西を描いた。緑は安らぎ、落ち着き、平和を、金色は太陽エネルギーの伝導や復活、富と栄華、白鷺は再生の象徴である。

作品 No.	図案の説明
145	両校の校章デザインを組み合わせ、アンケート意見を参考に、丸みのある、白鷺、月桂樹を入れた。
146	目黒のMと西の字を入れた。背景の丸い鳥は白鷺で、白鷺のしっぽになっている葉は、月桂樹の葉を表している。両校の象徴を合体させ、西中は全国にいくつかあるので、目黒と分かるようにMを付けた。
147	花言葉が飛躍であるカラテアという花を2枚描いた。中学校は高校へ飛び立つ準備なので意味がぴったりだと思った。カラテアの周りには水を表しており、水の象徴が神聖・清浄なので、秩序ある純粋な心を持つ人に育てる中学校になってほしいという意味を込めた。そして、花を重ねることで、目黒のMを表している。
148	日本の学校は春から始まるため、春の植物であるひまわりを描いた。目黒のMを中央に置き、円の中心から線をのばすことで目黒西中から世界へ羽ばたいていくことを暗示している。
149	上下にM(目黒)とW(西)をモチーフにした。左右の月桂樹は十一中の要素、左右の角みたいなものと中央のI部分は八中要素である鷺草を取り入れ、中央には中(中学校)を入れた。月桂樹は明るく学校生活を送ってほしいという意味で明るめの緑、中(中学校)の金色は輝いてほしいという意味。全体は銀色。
150	八中の文化はなくなかったため、鷺草を取り入れ、統合により目黒西中になるので、W(西)を組み合わせた。
151	西という漢字を、八と11、白鷺で作った。八中と十一中がうまく混ざって、新しい中学校を作り上げてほしいという思いを込めた。
152	M(目黒)とW(西)を組み合わせたロゴの周りに、月桂樹の葉を描き、学問に必要なペンを描いた。
153	両校の校章を受け継いで欲しいため、それぞれの校章のデザインを組み合わせ、中心に西中の文字を入れた。
154	中央に八中の象徴である白鷺、白鷺の周りに十一中の象徴である月桂樹、そしてW(西)を描いた。両校の伝統を受け継いでいくために、両校の象徴となるものを入れ、西中学校だと分かるようにした。
155	八と十一を融合し、それを包み込む感じでW(西)を描いた。昔の姿を残しつつ、西中となることをイメージした。色は黒。
156	目黒西→MW(MeguroWest)。西という方角からコンパスをイメージし、十一中の月桂樹が西の方角を向くようにした。コンパスの中心を意味するとともに、中学校の中を入れた。八角形(オクタゴン)は、繁栄、幸運、幸福という意味がある。八からは未広がり、無限大のマークを連想でき、縁起が良い。
157	八中の白鷺と十一中の月桂樹、目黒西中の字を取り入れ、統合感あるデザインを取り入れた。
158	八中の白鷺を中心に置き、その翼を十一中の月桂樹にした。また、白鷺が西を向いており、西中を暗示している。そして、■ ■が11を表しており、それが計8本ある。
159	目黒区立に誇りを持つため、区の紋章の六角を使用し、中学校を意味する中を入れた。また、両校の現校章から、八中の白鷺と十一中の月桂樹を取り入れ、互いに協力し、向上していくという思いを込めた。
160	八中の白鷺と十一中の月桂樹をデザインに入れた。西の字を入れたかったので、丸い字体で少し古さを感じる字体にした。
161	統合されたあとも、両校の良き伝統、校風が受け継がれるために、両校のシンボルである白鷺と月桂樹を表現し、生徒の心に残るようにした。また、花が咲く様子で、華々しい感じにした。
162	十一中の月桂樹を、八中の白鷺に足した。2つの学校の統合で、新しい学校をつくっていくという思いや、生徒やみんなで助け合うことで西中ができるという思いを込めた。
163	白鷺と月桂樹を組み合わせ、八中と十一中の2つの中学校によって、西中があるということを忘れないようにするため。
164	八中の白鷺と十一中の月桂樹を組み合わせ、目黒のMと西中学校のNを中心に描いた。
165	八中の八にかけて、八角形をベースにデザインを考えた。両校の校章の中で印象的に思ったのが、白鷺と、Mの中に十一が入ったデザインなので、絶対に取り入れたいと思った。白鷺を西の方向に向いて飛んでいるように描くことで、目黒西中がこれから発展してほしいという願いを込めた。
166	八中の白鷺と十一中の月桂樹を入れて、シンプルに仕上げた。両校の学校の良さを生かしながら、多くの人々の記憶に残る校章にした。
167	周りの形は八中の校章をもとに、そこから十一中の月桂樹をつけて、混じり合っていることを表現した。Eは、EightとElevenのEで、2つのEが混じっていることを表現した。Eの色は、明るい学校になってほしいので黄色にした。
168	十一中の月桂樹に、M(目黒)とW(西)を入れた。
169	十一中の月桂樹を、1枚1枚均一な大きさになるように描いた。また、新校の校名である西が強調されるように、文字を大きく、太く描いた。
170	アンケート結果で書かれていたもの(目黒から馬、学業のペン、MとW、白鷺と月桂樹、八と11など)を全て取り入れた。
171	かっこいいと思ったから。
172	西の字やサッカーのイラストを描いた。葉を西向きにした。
173	かわいいから。

作品 No.	図案の説明
174	新幹線が色んな地方を忙しく働いている。
175	激しくカッコいい図案にしてみたいと思ったから。
176	鳥の絵を描いた。また、4月は春で桜が咲くことを表すため、桜を描いた。さらに、燃えろ八中魂を元に、炎をつけた。下部分は道にした。
177	WESTのWを入れた。
178	ハトの絵を描いた。とてもカッコいい。
179	新しい中学校に花の絵を描いた。
180	ふさわしいと思ったから。
181	端の部分は、八中の校章に似せて描いた。
182	西中に通っている生徒が、明るく、そして楽しい学校にしてほしいという思いを込め、カラフルな虹、風船、羽、英語で書いてある西中の看板を描いた。
183	いじめがないように、鳥が見守って平和になるように描いた。
184	理由なし
185	鉛筆の形の校章はよくありそうだから。また、下の矢印は空白を埋めるために入れた。
186	白鷺と月桂樹を描いて、八中と十一中の面影を残し、8と11を描いて、元は八中と十一中だったことを表している。
187	八中と十一中が統合するので、校章も合わせてみた。
188	八中と十一中が混ざるから、両校のスクールカラーである、赤と緑を組み合わせ、白鷺と月桂樹を合体させた。
189	両校の校章の一部を組み合わせたデザイン。西という漢字に、八中と十一中の校章のパーツを付けた。また、八と11を入れた。勝者を意味している。
190	十一中の11と八中の八を組み合わせるとWになって西中のW(ウエスト)になる。八中のサギ、十一中の月桂樹を合わせている。
191	目黒区の豊かな自然を表すためにモチーフは四葉にした。四葉には幸せ、幸福などの意味があり、この学校に来た人々が幸せになれたらという意味を込めた。
192	W(西)とM(目黒)を入れた。笑顔になってほしいという意味でMの茶色は枝をイメージした。
193	サギの翼、M(目黒)、W(西)、中(中学校)
194	八中のサギと十一中の月桂樹を組み合わせた。未来に羽ばたいていくイメージを込めるためにサギの羽を入れた。W(西)を付けた。
195	十一中の月桂樹と八中の白鷺と西のWを入れた。白鷺の示すほうに西のWを入れた。両校の良さを残しつつ、新しいデザインにするため、白鷺を大きく入れた。大きく羽ばたく白鷺とのびのび成長する月桂樹の組合せて大きくのびのびと育てほしいとの思いを込めた。柔軟な発想が持てる中学生になってほしい。
196	十一中と八中の校章をミックスした。目黒のMを入れた。
197	十一中、八中の校章にある月桂樹と鷺草を入れた。西中の「西」の字を一番上の横棒を二つに分けることで八と11が入っているように見せた。白にしたのは、鷺草が白だからということ、これからみんながこの校章の鷺草に自分の色につけて一人一人みんなオンリーワンの学校にしたかったから。月桂樹が白なのも、人によって月桂樹の色の見え方も変わってくるかもしれない、みんなが自分なりの月桂樹を作るため。
198	W(西)、M(目黒)、十一中の月桂樹を入れた。顔のように見えるから良い。
199	M(目黒)とW(西)を組み合わせたかたちにし、学生らしいパンのイメージを加えた。周りには十一中の月桂樹、中(中学校)は八中の校章のものを使った。
200	尾羽が月桂樹の白鷺にした。中心はW(西)とM(目黒)を合わせて横にした。
201	鷺草の上に西中、鷺草で目黒のMを表している。周りには月桂樹を入れた。
202	八中は赤、十一中は緑なので二つの色を入れた。協力的な中学校になってほしいのでサギと草が向かい合わせた。
203	11と八を入れて、西中と大きく書いた。目黒のMも入れた。周りには月桂樹を書いた。
204	八中と十一中のデザインを混ぜたかったので、鳥と月桂樹を混ぜた。

作品 No.	図案の説明
205	八中と十一中が統合するのでデザインも合わさったようにした。
206	白鷺には多数の仲間が巣を作る特徴がある。色んな仲間と学校を創りあげてほしいという意味を込めた。
207	真ん中に西中と入れ、白鷺が飛んでいる様子から、西中が大きく羽ばたいていく思いを表した。
208	目黒のMと八中の白鷺の翼、十一中の月桂冠を入れた。八中の赤、十一中の緑を光で混ぜると黄色になるので、西を黄色にした。
209	桜には精神美という心の純粋さ、美しさを指した花言葉があることから、新校の生徒も心美しく優しい人になってほしいという意味を込めた。周りの月桂樹は優秀になるという意味を込めた。
210	八中の羽のようなデザインと十一中のMとで月桂冠を書いた。かっこよく見せたかったので、WESTも入れた。色は緑、白、黄色など自然豊かな色の雰囲気意識した。
211	目黒の花のハギを取り入れた。目黒の中の位置を主張するために西の文字を入れた。
212	八中の白鷺と十一中の月桂樹を合わせた。西には八が隠れているので統合することを表した。
213	八中はサギと八の文字、十一中は月桂樹と11を入れて大きなM(目黒、十一中のデザイン)の文字も入れて、両校のデザインを意識した。八中の八の字を残しつつ西の文字にした。
214	十一中の校章の月桂樹、八中の白鷺を取り入れ、学校名を真ん中に入れ、その上に目黒のMを入れた。
215	W(西)とM(目黒)を組み合わせて中央に中を書いて学校名を表した。
216	M(目黒)、W(西)、十一、八、月桂樹を入れた。
217	月桂樹と鷺草のデザインを取り入れた。周りに月桂樹、真ん中にさぎ草と中の文字を入れた。月桂樹に付いているリボンはWをイメージした。2つの校章からデザインを取ったことでとてもいいデザインになった。あわさったことでもっといい学校に、みんなが仲良くなる学校になってほしい。
218	月桂樹の葉、目黒のM、数字の11、漢字の八、鷺草、漢字の西中を入れた円形の八中と十一中の校章を合わせたデザイン。二つの学校が互いの伝統を尊重し合い協力してより良い学校を創ってほしいという思いを込めた。また月桂樹の葉が不規則なのに集まって一つの大きなものになっているのは、互いの個性を認め合い、互いの長所と短所を知り、カバーし合って、一つの大きなものを創造してほしいという思いも込められている。
219	十一中と八中の校章を両方も使った。
220	八中と十一中の校章を合わせた。
221	目黒区は花と草があって自然にあふれているところに着目した。
222	八中と十一中が合体するから校章も合体させた。目黒のMを入れた。
223	Wは西のWest、Mは目黒のMでまわりの葉は十一中のシンボルの月桂樹で、まわりについているのは八中の鷺草です。
224	十一中と八中の校章を取り入れて、鷺草と月桂樹を入れた。2つの学校が一つになったという感じを出したかった。
225	八中と十一中を合体させて数字も入れた。
226	中(中学校)から翼を生やして、どこまでも羽ばたいていくという意味を持たせた。Mを土台として八や11を入れ、西のようにした。
227	八中の白鷺と十一中の葉を合わせた。八中の八と11中の11と中学校の中を合わせて、西のようにした。鳥は西の方を見て上を向いて行ってほしいという意味で顔を上にあげた。
228	八中の白鷺の羽を十一中の月桂樹で表した。字は八中っぽくして目黒のMを入れた。逆から見ると西のWになる。
229	M(目黒)とW(西)を組み合わせた。
230	M(目黒)とW(西)を重ねた。文字の縁には第十一中の校章の月桂樹の葉を取り入れた。中学の文字の周りは第八中の校章から白鷺の羽を取り入れた。色は黄緑が十一中、赤が八中を表し、銀色は落ち着きを表す。
231	M(目黒)、W(西)を使った。月桂樹の葉と白鷺の羽を描いた。
232	M(目黒)、W(西)、八中の白鷺、十一中の月桂樹を入れた。学校の間で混ぜた。学校の壁を超える→他校とも仲良く。派手すぎない。生徒からあふれる優しさをイメージし、角は丸くし、優しく柔らかい感じにした。優しい学校、優しい生徒であってほしい。



作品 No.	図案の説明
233	八中の白鷺と十一中のMを合体させて作った。十一中の校章の中に西中を入れた。
234	M(目黒)と西を書いて、西に縦棒を入れて中にした。
235	大部分のかたちは八中の鷺草、周りにある草は十一中の月桂樹。中のMは目黒のMで逆にすると西中のWになる。西中のM、W、十一中の月桂樹、八中の鷺草という3校のモチーフを合わせたロゴになっている。
236	リボンのようなデザインはM(目黒)とW(西)を合体させたものになっている。斜線で入っている葉は十一中の月桂樹と八中の鷺草をイメージした。左右にあるのは11と8を横にしたもので十一中と八中をイメージした。
237	十一中と八中の校章を合わせた。十一中の校章で葉をアーチにしていたので、そのモチーフを取りれて、八中の鷺草は白鷺がモチーフなので白鷺を取り入れて、2つの学校の校章を組み合わせたデザインにした。
238	月桂樹と白鷺の羽を描いた。白鷺の羽が西を向いている。
239	西中だから西(左)向きの白鷺。中学校の中と十一中の校章の葉を入れた。
240	八と十一で枠を作って、その中に西中を入れた。
241	見やすいように真ん中に中を書き、スクールカラーになりそうな色を取り入れた。周りを羽に見立てて全生徒が夢を持って飛び立てるようにという意味を込めた。
242	西中のイニシャルであるNを取り入れ、太くて見やすいデザインにした。真ん中に中を書いて、一目で中学校だと分かるようにした。周りを星で囲って新しい学校でも全員が輝けるようにという意味を込めた。
243	八中の鷺草と十一中の月桂樹を入れたデザインにした。
244	十一中の月桂樹の葉と白鷺をイメージした羽を書き、どこまででも飛んでいける西中を想像した。
245	目黒のMを入れて、まわりにヒマワリを書いた。ヒマワリの花言葉は情熱なので、情熱を持つという意味を込めた。
246	二重線は十一中と八中を表した。M(目黒)とW(西)を入れた。
247	十一中の校章にある11を取り入れ、西中の西をWにした。八中の赤と十一中の黄緑を入れた。
248	あえて両校の要素を取り入れず、新しくゼロから学校を創り上げてほしい。
249	十一中の校章の月桂樹と八中の白鷺を組み合わせた。月桂樹の上を空けることでどんな障害も乗り越えられるという意味を込めた。
250	W(西)とM(目黒)を組合せ、月桂樹をまとわせた。
251	西のNに学業を表すペンを刺した。Nの色はスクールカラーにしたい。
252	十一中の11と八中の八を組み込んだ。目黒のMであり、十一中校章にもあるMを組み込んだ。目黒区の花のハギを垂らし、調和、輝く心を花言葉とするホトケノザも中に入れた。黒の部分をスクールカラーにしたい。
253	八中と十一中が統合するのでそれぞれの花を合わせ、その上に目黒のMを描いた。
254	中心に中(中学校)を入れた。その周りに目黒のM、11(一つを反転させる)の両方を意味するMの字を入れた。その枠の中に8を2つ入れた。Mの横には白鷺の羽をつけた。一番外側には月桂樹の葉を19(11+8)枚入れた。十一中と八中の要素をたくさん取り入れるようにした。
255	中心に西を入れ、その周りはヒマワリをイメージした。ひまわりにした理由は太陽に向かって大きく花開くように、鮮やかな黄色のように明るく育てほしいとの願いを込めた。
256	十一中の校章の月桂樹を八中の校章の白鷺にかぶせた。丸みのあるデザインにしたかった。両校の校章のモチーフを使いたかった。月桂樹は片方ずつ葉の数は11枚。白鷺の羽は8枚にした。
257	月桂樹の葉で白鷺をかたどった。背景にはM(目黒)とW(西)を合わせたものを入れた。
258	西中のNの中央に中を入れて西中を表現した。
259	中心のデザインに西、中、八、11が隠されている。月桂樹を周りに描き、勝利や栄光の意味を持たせた。

作品 No.	図案の説明
260	今の十一中の場所に西中ができるので、十一中の校章に西の文字を入れた。真ん中の花はコマデリという花で友情という意味を込めた。十一中と八中が統合しても「〇〇中だから」などと区別せずに仲良く過ごしてほしいと思う。また花びら一つ一つの大きさを変えて、「みんな違ってみんないい」という意味を込めた。
261	十一中の校章に八中の校章の翼を描いた。Mの中に11、羽の中に8を半分にした3を描き、どちらの学校の数字を入れた。
262	十一中の月桂樹、八中の白鷺の羽を取り入れ、西中の文字を囲むようにした。
263	八中と十一中が統合するので19枚の月桂樹の葉と白鷺を描いた。十一中の場所に新校舎ができるので月桂樹を残した。
264	八中の八と十一中の11を掛け合わせた。月桂樹を入れ、左右対称にした。
265	西と中を合体させて作った。
266	八中と十一中の統合なので、八中のサギと十一中の月桂樹を混ぜた。
267	八中と十一中の統合なので2校の校章を合わせた。両校の生徒が仲良くできたら良い。
268	十一中と八中の校章を残したかったので組み合わせた。白鷺が月桂樹の葉をくわえさせることで、新しい西中を優秀で良い学校になるように導くモチーフとした。
269	鳥と文字を組み合わせた。
270	11(一つを反転)中と八中が一つの学校になって西中になったことを表した。11中の校章の葉も付けた。色は現在の八中のように落ち着いた金色のようなもので良い。
271	八中の校章の鳥と、十一中の月桂樹を組み合わせた。
272	十一中の校章の月桂樹とW(西)を合わせ、真ん中に中学校の中を入れた。
273	校章のデザインに関するアンケートで丸が良いという意見があったので、大枠を丸にした。葉も入れ、鳥も入れ、M(目黒)もW(西)も入れてみた。
274	ソメイヨシノの桜の花びらに囲まれる西中をイメージした。左右の花びらは十一中と八中を表していて、二つの花びらが合わさって西中の一つの花びらができることをイメージした。緑で囲まれているのは自然で八中と十一中がつながっていることを表した。
275	八中と十一中の校章を忘れたくない。目黒区のMを残したいという思いを込めた。
276	赤で目黒のM、オレンジで西中の西、緑で八中の八を組み合わせた。十一中の月桂樹を入れた。
277	月桂樹と時計を合わせた。分針と時針が八と十一を指す。
278	自然豊かな地域なので花をイメージして丸っぽく描いた。内側にシンプルに西中と入れた。
279	W(西)を白鷺で表現し、月桂樹の葉で鳥の目と校章らしさを出すために円を描いた。中(中学校)には木の根のように嵐に負けぬ、強い心を持った生徒になれるようにという思いを込めた。
280	西中だから。
281	目黒区の花であるハギと目黒西中のイニシャルのWを描いた。ハギのかたちを丸くして、学校で一丸となるという意味を込めた。
282	W(西)と中(中学校)を合わせて描いた。Wの文字がコーカサスオオカブトに似ていたのをそれに似せて作った。コーカサスオオカブトの偉大さを中学校の姿に表した。
283	目黒西中学校のなので西を入れたかった。またアンケートの中に白鷺を入れたいという意見があったので入れた。
284	西を強調し、周りの花のように生徒が華やかに輝くようにという意味を込めた。
285	アンケートで円を入れたいという意見があったので円を入れ、中央に中(中画工)、上にM(目黒)、下にW(西)を入れた。中のなかに八中と十一中が一つになるという意味を込めて8と11を入れた。
286	月桂樹と鷺草を組み合わせた。また区内の中学校の校章に全て中が入っているので中も組み合わせた。令和にできる新校ということで新鮮さを出すためアルファベットを入れた。
287	西を強調したデザインにした。十一中の月桂樹と八中の白鷺の羽を入れた。
288	目黒の桜、八中・十一中の校章を合わせた。

作品 No.	図案の説明
289	真ん中に西を入れ、そこから月桂樹も入れた。栄光をつかみ取ってほしいとの願いを込めた。
290	手でW(西)を表した。後ろには花言葉が大切な思い出、調和である緑色のモミジを入れた。真ん中の西は赤と青でこれは2つの学校を表している。
291	M(目黒)とW(西)を合わせて蝶を描いた。蝶は吉祥文様でもあり、復活を象徴している。何度折れても何度でも復活する力のある生徒になってほしいとの思いを込めた。
292	十一中の月桂樹と八中の白鷺を混ぜた。目黒のMと西のWを組み合わせた。目黒西中学校で優秀な成績を収めて、白鷺のように飛び立ってほしいとの思いを込めた。
293	真ん中のMは目黒、Wは西を表した。4つの卵を自然を表す緑で囲み、自然とともに成長してほしいとの思いを込めた。
294	平和の象徴の月桂樹と八重桜を組み合わせた図案にした。八重桜は自然豊かな目黒区の中でも美しい花だと思ったので取り入れた。
295	西中のWにした。シンプルで覚えやすく、黒だけでカッコよくした。黒一色にすることで何かを貫くという思いを込めた。
296	ワシが象徴する先を見通す力、本質を見通す力、自由、力強さなどを新校で大切にしてほしいと思い、ワシの羽を入れた。
297	中央には目黒西中学校の西を入れた。八中・十一中の校章の由来とデザインを参考にして、白鷺の羽と月桂樹をデザインした。
298	目黒区にある学校で、緑道には春に桜が咲くので目黒区のシンボルである桜を入れた。
299	この地周辺でごくまれに見られるためきをデザインに入れた。円形が読み取りやすいように右上部分に大きく尻尾を描いた。ためきが大人に変身するようにこの学校に通う生徒が成長してほしいとの思いを込めた。またためきが見られるような豊かな自然を守ってほしいとの思いも込めた。
300	十一中の校章の月桂樹の花言葉からインスピレーションを受けて、勝利、栄光という花言葉を持つ沈下花をモチーフとした。新校舎が十一中の場所に建つので、八中の名残を残すために葉を8枚入れた。
301	十一中の校章の月桂樹の花言葉からインスピレーションを受けて、勝利、栄光という花言葉を持つ沈下花をモチーフとした。新校舎が十一中の場所に建つので、八中の名残を残すために葉を8枚入れた。
302	中(中学校)に鷺草を混ぜ、周りを月桂樹とMで西の文字に見せた。
303	M(目黒)とW(西)を組み合わせた。スクールカラー候補の赤紫をベースにした。
304	八中の白鷺をベースにして、その白鷺が十一中の月桂樹をくわえているように描くことで八中と十一中を表した。中心に西中と入れて、学校名がすぐ分かるようにした。
305	毎年緑道に咲く桜がきれいだから桜を入れた。
306	月桂樹の葉を羽のように描き、生徒たちが羽ばたいていけるようにとの思いを込めた。またWは西を意味し、反対から見ると目黒のMになる。
307	西中の平和な感じを表現した。
308	富士山のようにたくましく生活してほしい。
309	西中なので中央に大きく西中を入れた。目黒区の花のハギをデザインした。ハギは古い株から新しい芽を出すので、八中と十一中の伝統をもとに新しく輝かしい未来を築き上げてほしいとの願いを込めた。
310	両方の校章を組み合わせて、仲良くなれるようにという意味を込めて、白鷺口ボにした。
311	アンケートをもとに、十一、八、西中、八中の白鷺の翼、十一中の月桂樹を入れた。
312	西の中に八と11という文字を入れ、月桂樹とサギの中に入れた。八中生にも十一中生にも母校の思い出があるのでどちらの学校の校章の要素を残したいと思いこのデザインにした。
313	八中の鷺草と十一中の月桂樹を使い描いた。
314	中心にある三角形が左側を向いているため、コンパスの西を表している。また中央の三角形は矢印を表し、まっすぐ成長してほしいという意味がある。周りの3つの円は小さいものから、1年、2年、3年を表し、学年を重ねるごとに大きくなって成長していくことを表している。白黒なのは規則を守り正しく成長してほしいという意味がある。
315	十一中の月桂樹と八中の鷺草を合わせた。
316	Mは目黒。月桂樹の葉は内側を黄緑、外側を緑にして明るさを変化させた。赤色の鳥は八中の白鷺をカッコよくマークにした。西は黒く塗って目立つようにゴシック体にした。

作品 No.	図案の説明
317	十一中の月桂樹と八中の白鷺を組み合わせた。
318	八中のシンボルの白鷺の翼、十一中のシンボルの月桂樹(勝利/栄光のシンボル)を掛け合わせたデザイン。翼には未来へはばたけ、月桂樹には未永く続けという意味を込めた。Wは西のWestと翼のWingの意味がある。さらに色で自然を表した。
319	西中のWESTを図式化した。
320	十一中の月桂樹と八中のサギを掛け合わせた。月桂樹の輪とサギが2羽いることから、互いの中学校が助け合い、よりよい中学校を作り上げることができるように願いを込めた。
321	ローマ数字のX(10)と数字の8と1を組み合わせた。
322	両校の伝統や良いところを引き継ぎつつ、新校に通う生徒が開拓精神をもち、次代を担う存在として成長していけるよう、鷺草と月桂樹で新校の目指す姿を現した。鷺草は、M(目黒)とW(西)、そして∞(無限大)の可能性を秘めた生徒達を応援する気持ち、月桂樹は、呑川とその支流の2つの流れが合流する緑が丘の地で、2つの学校・地域が1つになり、同じ方向を向きながら発展していく姿を現している。また、横から見ることで8と11の数字がうかびあがる。八中のスクールカラーである赤を鷺草の縁取り、十一中のスクールカラーである黄緑を月桂樹の葉や茎の縁取りに用いることで、両校の伝統や良さ、思い出を忘れたくないという気持ちを表している。